



刈谷市ふるさと納税状況

刈谷市民の声 | 検索

	2017年	2018年	2019年	合計
ふるさと納税(入)	1886万円	558万円	3734万円	6178万円
ふるさと納税(出)	1億8600万円	2億6400万円	3億7100万円	8億2100万円
差引き	マイナス 1億6714万円	マイナス 2億5842万円	マイナス 3億3366万円	マイナス 7億5922万円

コロナ対策費用に「住民参加型市場公募地方債」の発行を!

今後、コロナ対策費用の調達に懸念されます。個人市民税・法人市民税・固定資産税・都市計画税等の減収が懸念されます。このような状況の中で新たなコロナ対策費用の調達を考えなければなりません。良く「ふるさと納税」の活用を言われますが上記の表のように刈谷市は「ふるさと納税」の活用は難しいと考えます。そこで「住民参加型市場公募地方債」での資金調達を提案します。刈谷市民の皆さんに、この債権を購入して頂き、コロナの対策費用に充てる手法です。「市民の力でコロナに勝つ! 刈谷コロナ対策ファンド(仮称)」を20億程度発行することを提案します。

※住民参加型市場公募地方債とは、地方公共団体が主に地域住民を対象に発行する債券のこと

他市の発行額	室蘭市	3.5億円 (人口82000人)	習志野市	4億円 (人口167900人)
	鯖江市	4億円 (人口68500人)	ひたちなか市	3億円 (人口154700人)

刈谷市議会議員 VOL.21
上田まさや活動報告
 みんなでつくろう! 刈谷の未来・子どもの未来
まさやレポート

上田まさや | 検索
 since2011
 masaya70@gmail.com

子どもたちへの未来への負担増大 刈谷市特別会計推移

	2010年度	2015年度	2020年度
国民健康保険	99億	129億	111億
後期高齢者医療	10億	14億	17億
介護保険	51億	68億	81億

「少子化の波」によって日本の社会保障制度は非常に苦しいものになっています。例えば「国民健康保健(特別会計)」は、毎年、一般会計等より「繰入」れを行っています。保健基盤安定繰入金、職員給与費等繰入金、出産育児一時繰入金、財政安定化支援事業繰入金、法定外繰入金の合計8億2380万円を行っています。特に「法定外繰入金」は2億4000万円もあります。これは赤字補填的要素がある繰入金ですから、市民1人当たり1600円を負担していることとなります。介護保健も2020年度に90億円を突破する見込みです。未来に負担を回さない為にも、ジェネリック薬品を積極的に使ったり、健康維持の為に旧体育館を高齢者の方の健康維持施設に転用したり、出来ることはあります。また、他の市で市民病院を持っている自治体では、毎年、市民病院に15億~20億の資金を投入して維持しています。その点、刈谷市はトヨタさんが運営している「刈谷豊田総合病院」があるお陰様で、毎年の刈総に対する補助が数億円ですみます。ありがたいことです。

STOP!
 30 ↓ 50? 億
刈谷城復元

子ども食堂ほっとライスHP

刈谷市生活保護世帯数

	2011年度	2014年度	2017年度	2019年度
生活保護世帯数	583	605	504	498

刈谷市の生活保護に掛かる扶助費(負担:国が4分の3、市が4分の1)は10億4100万円です。市民1人当たり694円の負担になります。格差社会が広がると、この費用が増大します。近年では1人暮らしの恒例者の方の申請が増えています。その背景には、子は居るが離婚、非正規雇用で親の面倒を見れないという理由があります。非正規雇用の拡大が、婚姻率の低下、子どもの貧困、社会の不安に繋がっています。この部分の是正が必要です。正社員の拡大を!

コラム

「相手を変える前に、自分を変える」

生きていく上で「なぜ? あいつは分かってくれないんだ?」(相手が悪い)と思う事はないでしょうか? 相手を変えることは中々出来ませんが、自分の心や態度は自分自身で変える事が出来ます。自分の思考や行動が変わると相手や自分の周りの状況も変わって行き、人生の流れが向上します。意識して試してみてください。人生は全て、己の選択、決断、実戦で成り立っています。

明日へつなぐ
食料支援事業
 未来へつなぐ
ランドセル支援事業

一般質問映像は | 刈谷市議会 | 検索 | ほっとライス | 検索
 ※映像がスマホ対応になりました。

子ども食堂ほっとライス
 お問い合わせ masaya70@gmail.com